

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年8月4日(2016.8.4)

【公開番号】特開2014-4362(P2014-4362A)

【公開日】平成26年1月16日(2014.1.16)

【年通号数】公開・登録公報2014-002

【出願番号】特願2013-130100(P2013-130100)

【国際特許分類】

A 6 1 G 1/00 (2006.01)

A 6 1 G 7/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 G 1/00 5 0 2

A 6 1 G 7/10

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月15日(2016.6.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

乳児患者の移動中に前記乳児患者を支持するための移送装置であって、
受入れポケットを含み、前記乳児患者の下に位置することが可能な中央支持部と、
前記中央支持部の前記受入れポケット内に位置し、移動中に前記乳児患者を支持するための補強装置であって、長手方向に延在する着脱可能な背板を備え、前記背板は前記長手方向に柔軟性を有するとともに前記長手方向を横切る方向に剛性を有するように構成された補強装置と、

前記中央支持部に接続され、第1のハンドルを備える第1の側部と、

前記中央支持部に接続され、第2のハンドルを備える第2の側部と、

を有し、

前記第1および第2のハンドルが互いに隣接するように位置して前記第1および第2の側部が前記乳児患者を囲むように、前記第1および第2の側部が互いの方に向かって移動可能である移送装置。

【請求項2】

前記中央支持部並びに前記第1および第2の側部が、單一ユニットとして形成されている、請求項1記載の移送装置。

【請求項3】

前記第1および第2の側部の少なくとも一方が、前記乳児患者に取り付けられたチューブおよびワイヤを受けて固定するように構成された押さえ装置を備える、請求項1記載の移送装置。

【請求項4】

前記第1の側部および前記第2の側部を接合するための取付けデバイスをさらに備えた、請求項1記載の移送装置。